

こおろぎ

発行日 2003年1月1日 No.118
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp

幸せのオセロ・ゲーム

新年明けまして、おめでとうございます。
「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆さんはどのようにして新年を迎えたのでしょうか？

私は、トイレ掃除と募金で2002年を終え、43年間で初めて勉強で新年を迎えました。また、元旦には、社員や友人たちとマラソン大会に出場して、とても気持ちの良い新年のスタートをきることが出来ました。しかし、これはあるゲームと関係があるのです。

皆さんは、「オセロ・ゲーム」をご存知でしょうか？互いに白と黒とコマを置き合い、相手のコマを挟むことで自分の色にして、コマの数を競うゲームです。

このゲームを上手な人とやると、最初はいい戦いをしているつもりでも、終盤にゲーム盤の端にコマを置かれて、あっという間に相手の色に埋め尽くされてしまいます。このゲームのポイントは、「端」にあるのです。

きっと人生の名人も、しっかりと端（ポイント）を抑えているのでしょう。

そこでこのゲームを人生に見立て、一年の初めと終わりに「白」の行動をして、私も一年間を全て「白」にしてしまおうという作戦なのです。

もちろん、このゲームは一年の初めと終わりだけではなく、一日の初めと終わり、人と会う初めと終わり、仕事の初めと終わりと、いろいろなことに応用できます。

「次はどんな白を置こうか？」と、ゲーム感覚で一日を工夫するのも楽しみです。皆さんも試しに「幸せのオセロ・ゲーム」を始めてみませんか？

宝くじも買った方が楽しみになるように、人生もそうしたことをした方が楽しくなると思いますよ。

今年も一年、きっと色々なことがあると思います。じつと良いことが起こるのを待つのではなく、自分の努力で今年一年、今日一日を「白」の日にしていきたいと思います。

お便りコーナー

あけましておめでとうございます。
十二月は、試験勉強の合間に、網走から福岡まで九県でご講演され腰が痛いのがわかる気がします。その中で、「少し忙しい時は、少し時間が出るとここで休んでおこう」と思うのに、本当に忙しくなる」とここで少しでもやっておこう」という気持ちになる」というお話を伺い、とても参考になりました。私の場合、まだまだ少しの忙しさだと思いました。
確か、「企業のトップ」という番組に、杉井さんが出演されていた時に、杉井さんは、「自分の座右の銘を「一期一会」と答えていたと思います。「一期一会」を辞典を引くと、「今が最初で最後」と書かれていました。本当に時間はどんどん過ぎていきますね。
後でやるうと思っても、やったためしのない私ですので、今年こそは、杉井さんのように「今」を大切にしていきたいと思えます。
どうぞ今年もよろしく願います。

体質が結果を分ける

昨年からの傾向があったのですが、二年前には私の会社の3割近い売り上げを占めていた仕事が急に減少し始め、今年には完全になくなりそうな状況となってきました。取引先にも都合があるわけですので、そうした時のことは以前からずっと考えていたことでもありました。

しかし、「いつかそうなるかもしれない」と思っている、実際にその仕事があるうちには、なかなか次の準備が進まないものです。

私の会社にしても、決して今すでに準備が整っている訳ではありませんが、仕事が完全になくなるのが去年でなく、今年で本当に良かったと今、実感しています。今年ならこうした状況を機会に、新しい会社に脱皮出来ると感じているからです。

これは希望的な観測ではなく、この一年で社員さん達の意識がずいぶん成長したと思うからです。

「人は石垣、人は城」と言いますが、困ったから何か新しいことをしようと思っても、その会社の体質や信用、そして何より社員さん達の意識（組織）がしっかりとしていなかったら、まず出来ることではないと私は思っています。

ひとつ登山を例に挙げると、冬の八甲田山であっても、その恐ろしさを知り、しっかりと準備で臨めば登頂することも可能かもしれませんが、比較的緩やかな山でも、なめてかかったり、体調が悪ければ遭難するのです。まして、天候の良い穏やかな山で息を切らしている登山隊が、八甲田山に挑戦したらどうなるかお分かりのことと思います。実際に登山開始したら、不満ばかりが出て、きっと成功できないと思うのです。

つまり、事の成否は、「何に挑むのか？」より、「どんな組織（体質）で挑むのか？」の方にかかっているように思えるのです。

急がず、狙おう！

そんな状況の中、仕事始めにあたり、社員さんたちに次のような話をさせてもらいました。

「先ほど営業部の人たちが社長とミーティングを開いていたようですね。きっと『皆で頑張ろう！』という気合の入った話だったと思います。それはそれでありがたいのですが、私の話も頭に入れておいてもらいたいと思うのです。

それは、『数字を出さなければならない』と考えるではないということです。『ねばならない』と思うと何でも苦しくなるものです。

今朝、皆で走ったのと同じで、最初にあまり頑張り過ぎると、すぐに疲れて最終タイムは遅くなるものです。今ここにいる人達を『頑張りたくない人達だ』というつもりはありませんが（笑い）私はこれまで会社を辞めていった人の中には、皆さんより優秀で、短期的に頑張った人達が多かった気がしています。しかし、残った人達の方が自分の家を建てたりしているのです。

人生は短距離勝負ではありません。また、皆さんには家族もあるのですから、毎年、少しずつでも良くなっていかなくてはなりません。自分の力以上のことは出来ないのですから、無理をしてイヤになったり、苦しむことのないようにしてほしいと思うのです。

その代わり、『もうひとつ出来ないか？』と、最後まで狙い続けてほしいと思います。私は何もなかったところから、『きっとやり方がある』と考えて、ここまでやって来ました。

狙っていない人は、苦しむことで満足し、頭を使って工夫することをしなくなります。しかし、工夫し、挑戦していると、結果は別に人生は面白いものになっていきます。楽しめないようでは、どうせ良い結果も出ないと思います。是非、狙い続けて仕事や人生を面白いものにしていってください。お願いします。」